

議員提出議案第9号

地域公共交通への財政支援強化と多摩モノレールへのシルバーパス適用拡大を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

令和6年(2024年)12月17日

提出者 八王子市議会議員 望月翔平

賛成者 八王子市議会議員 九鬼ともみ

同 綿林夕夏

同 市川克宏

同 及川賢一

同 石井宏和

同 鈴木勇次

八王子市議会議長

鈴木玲央 殿

地域公共交通への財政支援強化と多摩モノレールへのシルバーパス適用拡大を求める意見書

都内はじめバス路線などの減便や廃止が増加し、地域公共交通を取り巻く厳しさが増している。その要因には、コロナ禍以降、利用者の減少や運行コストが増加している影響で運行事業者が採算を維持していくことが困難になっていることや人手不足が挙げられる。

東京都は2022年策定の「東京における地域公共交通の基本方針」において、都市化の進展、人口減少時代の到来、社会経済情勢の変化などの状況を受け、地域公共交通に関する課題が顕在化しつつあり、これらに早急に対応していくことが必要であるとの認識を示している。同時に、地域公共交通の魅力や利便性を高める取組の必要性や2040年代の地域公共交通の将来像を実現する上で都の役割の一つとして、地域公共交通の確保・維持・改善・充実にに向けた取組の立ち上げや促進に資する支援策の構築を挙げている。

八王子市においても、コミュニティバスを運用し交通空白地域の解消や移動手段の確保に努めているが、高齢者の社会参加を促進していく上で今後もコミュニティバスにシルバーパスを利用できる体制とともに持続可能な運行を継続していくためにも東京都の抜本的な財政支援を求めるところである。

また八王子市などを走る多摩モノレールは、大半を都が出資する第三セクターの運営であるが、シルバーパスは利用できない。小池百合子都知事は、都知事選挙の際に「住民の皆様の悲願でもあった多摩モノレールの「シルバーパス化」を進めます」と公約に掲げている。住民の移動手段を確保する上でも早期の適用拡大を実現することが求められる。同時に、東京都市長会でも予算要望しているとおり低所得者等とそれ以外の方との間でシルバーパス利用料に大きな差が生じているため、新たな利用料軽減枠を設けることも求められている。

よって、八王子市議会は東京都に対し、以下の事項について強く求める。

1. 移動の自由を保障するとともに、コミュニティバスへのシルバーパス利用継続・拡大を含む地域公共交通の利便性向上を図るため民間事業者や市区町村への財政支援を強化すること
2. 多摩モノレールにもシルバーパスが使えるよう適用拡大を図ること
3. シルバーパス利用料について、中間所得層に向け、所得段階に応じた料金設定など利用料軽減枠を新たに設けること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年12月17日

議 長 名

東京都知事 宛